

2006年 あけまして おめでとう ございます。

昨年中は、お世話になりまして、ありがとうございました。
今年も、どうぞ宜しくお願い致します。



うちの犬

成年の干支に合わせて登場させる飼犬がないので、ぬいぐるみが年賀のご挨拶を致します。このぬいぐるみは、函館山の展望台で売られていた子犬。どうしても欲しくなって、旅行先から買って帰ったところ、半年後に生まれてきた息子の顔にそっくり、でした。

綿入れ...プティ..手仕事

ぬいぐるみも綿入りですが、寒い時期に欠かせないのが、綿入れ、といっても、和風ちゃんちゃんこではなくて、キルティングです。キルティングと言えば、シャネルか、ラヴェンハムを連想するでしょう。ファッションでは今年も手仕事や、手作りの風合いを生かした、「触感」重視の凝ったデザインが多く見られます。



LAVENHAM

エルメスにもキルティング製品がありますが、ラヴェンハムも乗馬関連から始めたメーカーで、<キルティングしたナイロン生地で軽いホースラグ(毛布)を作った>のが始まり。

表裏の生地の中に綿を入れて、よれないようにステッチをかけて、浮き彫り模様を描く、というキルティングは、中世アラブ民族サラセンの騎士が、鎧(よろい)の下に身につけていたのが、ヨーロッパに伝わったという歴史があり、起源は、中国、ロシア、またはエジプトのよう。

さらに凝っているのが、生地に模様をキルティングした上で、裏側から細い紐を入れ、模様を凸に浮き立たせるプティ。(下左図:南仏のキルティング)..作るにはおそろしく手間がかかりそう。こういう手仕事は、買ってしまわずに、自分で作らねば、という気持ちにはたらくため、おいそれと手を出せません。..憧れて見るのが楽しみです。



2006年を遊ぼう! シェル・アート



細かいと言えば、最近のネイルアートや携帯の装飾の細かいこと美しいこと。それにはとってまかないませんが、ハマグリを食べたあとの貝殻で、こんなことをして遊んでます。本当は刺繍やキルトをしたい私ですが、時間がないので、その不満解消..のシェルアート。

貝殻好きなので、貝殻といえば、何でも拾ってとっておく、それを見ているうちに、描き始めたのが始まりで、最近は無沙汰していたのが、ふと、またマイブームです。

貝殻の内側はふつうの絵の具は寄せ付けられない程ツルツルですが、最近、ガラスや樹脂に描ける顔料タイプのカラーペンの種類が増えていて、これがとっても使いやすい。今回使ったペン(サクラのピグマックス12色セット)は、クラフト展の抽選プレゼントで当たった福袋に入っていたものなので、すごい!元手なし、のアートということにもなります。

2006年を遊ぼう! クライミング

使う道具は、自分の体とクライミングシューズのみ。それに安全確保のロープだけを使って、岩場を登るのが、フリークライミング。アタマとカラダがうまく動いてくれないことには、きれいに登れないのが、面白いところ。昨年に引き続き、主なアウトドア遊びは、クライミングになりそうです。

